

令和3年度

# 施政方針

令和3年2月

安芸高田市

# 目 次

1. はじめに	.....	1
2. 行政経営の基本姿勢及び方向性	.....	2
3. 主な事業	.....	3
(1)危機への対応	.....	3
(2)教育の推進	.....	3
(3)医療・介護・福祉の充実	.....	4
(4)生活環境の向上	.....	4
(5)産業の振興	.....	5
(6)文化・芸術の振興	.....	6
(7)多様性の構築	.....	6
4. おわりに	.....	7

# 1. はじめに

令和3年第1回定例会の開会にあたり、市政運営に関する私の所信と令和3年度当初予算における主要施策の概要についてご説明します。

まずは新型コロナウイルス感染症への対応状況です。

現在、本市においては数件の感染が確認されていますが、市民の皆さまのご協力により、クラスター（集団感染）が発生するといった事態には至っていません。

今後もお太助フォンやホームページ、SNSなどの媒体を通して、迅速に正確な情報を届けるとともに、市民や事業者に向けて必要な対策を講じます。いよいよワクチンの接種も始まりますが、引き続き、感染防止対策に全力で取り組みます。

さて、国において、コロナ対策や地域のデジタル化を推進するための地域デジタル社会推進事業費が新たに計上される中、地方における一般財源は前年度並みの額が確保されました。

本市では、昨年からの新型コロナウイルス感染症の影響により、市税等の歳入が減少する見込みです。一方、歳出においては、社会保障費における扶助費や公共施設の維持管理費といった経常的な経費が増加しており、全体を圧迫しています。

こうした状況を踏まえ、令和 3 年度はこれまでの政策を見直し、まちが発展へと向かうよう舵を切ります。その起点は、新たに「攻めの要」として迎える副市長です。未来志向の事業を考案・実行できる、変革の原動力として大いに期待しています。

コンプライアンス（社会規範である法令等の遵守）の意識を徹底し、健全な市政運営に努め、市民の皆さまとともに「世界で一番住みたいと思えるまち」を実現していく考えです。

## 2. 行政経営の基本姿勢及び方向性

それでは、行政経営の基本姿勢及び方向性について説明します。

まず、新型コロナウイルス感染症により先行きが不透明な中、市民が安全に安心して暮らせるよう感染拡大防止と社会経済活動の両立を図る必要があります。

行政改革としては、公共施設の統廃合といった積年の課題にも取り組み、持続可能性を高めていく方針です。市役所においては、電子決裁の導入といった事務の改善は元より、人事評価の見直しを含めた人材育成の強化にも注力します。

経常収支比率が 98.2%と財政の硬直化が進む中、財政調整基金の残高は約 6 億円まで減少しています。将来世代に負担を先送りしないためにも、歳入における自主財源の確保と、歳出における全体最適を意識した事業の見直しにより、財政の健全化を推進します。

こうした結果、令和3年度の当初予算規模は、

一般会計、192億2,000万円（R2年度骨格予算に肉付け予算を加えた額の対前年度比0.9%減）、6つの特別会計は、合計90億7,616万4千円（対前年度比1.3%減）、地方公営企業法適用の水道・下水道事業会計は、収益的収支・資本的収支合計で26億6,459万2千円（対前年度比1.5%増）となりました。

### 3. 主な事業

続いて、令和3年度の主な事業について説明します。

#### (1) 危機対応

1点目は**危機への対応**です。

本市において、すでに数名の新型コロナウイルス感染者が確認されています。ワクチン接種については、関係機関と連携を密にし、早期の実施を目指します。同時に、市民や事業者を取り巻く状況を的確に把握し、必要な支援を講じていきます。

また、継続している災害復旧事業について早期の完了を目指すとともに、災害や救急への対応として、避難体制の構築や資機材の更新整備などを進め、危機対応能力の強化を図ります。

#### (2) 教育

2点目は**教育の推進**です。

本市では、令和2年度に小中学校における一人一台端末の整備が完了しま

した。今後は、こうした ICT も活用し、思考力・判断力・表現力を含む総合的な生きる力が高まるよう、教育の質を追求していく考えです。

また、教職員の事務効率化のため校務支援システムの導入を計画しています。働き方改革を進めつつ、教育環境の充実に繋げる考えです。学校施設については、トイレの洋式化といった施設改修も行います。

そして、吉田幼稚園においては、将来の幼保一元化への移行を視野に入れ、3歳児の受け入れを新たに開始します。

### **(3) 医療・介護・福祉**

3点目は**医療・介護・福祉の充実**です。

子育てに関しては、小学校統合に合わせて高宮町に児童クラブを開設するとともに、保育士等の処遇改善を進めます。

また、妊娠期から子育て期における母子へのワンストップ支援であるネウボラの構築に取り組みます。具体的には、保健師・助産師を新たに配置するほか、巡回育児相談や産後ケアといった事業を実施する計画です。

医療においては、大腸がん検査や脳ドック等への助成を拡充し、保健事業と介護予防の一体的な運用を展開していきます。また、吉田総合病院の医療機器に対する助成などを通して、地域医療の充実に努める考えです。

### **(4) 生活環境**

4点目は**生活環境の向上**です。

市道・上下水道等の社会インフラについては、利便性の向上とともに施設の長寿命化などに取り組みます。

お太助バスやお太助ワゴンといった公共交通体系は、運行開始から10年が経過しています。社会情勢に伴って利用者のニーズも変化しているため、今後はデジタル技術の活用も含めた仕組みの見直しが必要です。

ごみの問題に関しては、引き続き循環型社会の構築を目指し、リサイクルだけでなくリユースの普及を推進します。

地域の活性化という観点では、関係人口の創出に目を向け、市の魅力を市内外へ向けて発信する取り組みを強化します。また、持続可能な地域づくりを進めていくため、地域振興組織への一律的な支援を見直し、若者世代も取り込める枠組みを構築する計画です。

## (5) 産業

5点目は**産業の振興**です。

農業関係においては、基盤整備と担い手確保対策を継続するとともに、羽佐竹地区大規模野菜団地の整備を進めます。また、市が所有している堆肥センター3施設では、大型備品の更新と併せ今後の運営方法を検討します。そして、農業者の経営改善のため、ドローンやICT機器を使ったスマート農業の実証実験に対し助成を行います。

有害鳥獣対策では、モデル地区での実証実験といった取り組みも追加し、農作物被害の低減に注力します。

商工業においては、コワーキングオフィスの活用やパラレルワーカー（複業者）との交流を通して、市内事業者の活性化を図るとともに、就労・就業の機会を拡大させます。

## (6) 文化・芸術

6点目は**文化・芸術の振興**です。

本市には、伝統芸能と呼べる地域に根付いた文化があります。とりわけ神楽に関しては、世界に通じるコンテンツとして、これまで以上に発信を強化する考えです。神楽門前湯治村での特別公演や大都市での公演などの開催を通して、知名度と人気を一段と高めていきます。

なお、市内の観光施設については、運営する第3セクター等の経営状況を細かく分析し、施設の設置目的や採算性などの再検証を経て、市全体の最適化を図ります。

## (7) 多様性

7点目は**多様性の構築**です。

多文化共生や男女共同参画など、ダイバーシティの観点からも、人権の尊重は重要性を増しています。引き続き、啓発活動を実施し、市民の意識を高めていく方針です。障害者や外国人といったマイノリティを含む全ての市民が相互理解を深め、幸福を追求できる社会を目指します。

## 4. おわりに

以上、令和 3 年度の予算編成、提案にあたり、所信の一端を申し述べました。

新年度では、新型コロナウイルス感染症対策とともに、事務事業の見直しによる財政健全化に取り組み、未来への投資に向けて動き始めます。新たに真に統合されたまち“新/真・安芸高田市”の実現のため、市民の皆さまにはご理解とご協力をお願いします。